

Before >>>

After



ウレタン吹付け機例

機械による吹付け施工により、安定した品質と施工性を実現します。



施工手順例

1. 特種ポリウレタンフォーム「クララフォーム-R」の吹付け
(標準塗布量：1.0kg/m²)
2. 硬質ポリウレタン樹脂「リムテクトコート」の吹付け
(標準塗布量：1.5kg/m²)
3. 超耐候ハルスハイブリッド塗料「リムテクトトップHS」の塗布
(標準塗布量：0.15kg/m²)

使用材料一覧

工程	製品名	荷姿	備考
1 断熱層	クララフォーム-R	400kg/セット	2成分系超速硬化硬質ウレタンフォーム
2 防水層	リムテクトコート	400kg/セット	2成分系硬質ウレタン防水材
3-1_高耐候遮熱	リムテクトトップHS	15kg/セット	超耐候性ハルスハイブリッド型遮熱トップコート
3-2_難燃配慮型	(SPサーモコート、速硬化OTプライマー-M7ル)	(18kg/缶) (8kg/缶)	(1液水性アクリル樹脂系トップコート (難燃)、ウレタン塗膜防水材専用プライマー)

スレート、金属屋根の断熱防水改修工法

— リムテクト工法 —

正しい診断・たしかな施工

株式会社 **コンステック**

URL : <https://www.constec.co.jp>
Mail : info@constec.co.jp

本社 : 〒540-0031 大阪市中央区北浜東 4-33 北浜ネクスビル

TEL : (06)4791-3100 (代) FAX : (06)4791-3102

支店 : 札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・神戸・松山・広島・福岡

営業所 : 帯広・福島・新潟・横浜・富山・金沢・福井・静岡・高松
高知・山口・北九州・長崎・熊本・鹿児島・沖縄



ホームページ



事業所一覧



コンステックは持続可能な開発目標 (SDGs) を実践しています。



リムテクト工法

リムテクト工法は老朽化したスレート屋根や金属屋根に、特種ポリウレタンからなる断熱補強防水層と超耐候性遮熱塗料を組合せた「**屋根断熱防水改修工法**」です。

使用材料は適度な柔軟性と強度を有し、下地と密着して継ぎ目のない防水層を形成します。また、超速硬化樹脂を使用するため、短工期で居ながら施工が可能ですので、施設の操業を停止する必要がありません。補修後は劣化した屋根材も補強され、耐久性の向上、アスベスト等の飛散防止が図れますので、建築物の長寿命化にも貢献します。



- 速硬化ポリウレタン塗膜防水を使用
- 高強度、高伸度でシームレスな防水層を形成し、飛来物による破損防止、劣化した屋根の補強を図ります。

- 3層構造の改修層が、優れた耐久性と安全性を確保
- 難燃性トップコートも選択可

- 超耐候性遮熱塗料による保護仕上げ
- 高性能断熱材による断熱、遮音効果
- 各層の相乗効果により、結露防止、屋根材の耐久性向上が図れます。

高強度で高い安全性

強度、伸びに優れた「リムテクトコート」

- シームレスで強靱な防水層を構築
(JISA6021 建築用塗膜防水材 ウレタンゴム系高強度形)
- 施工時の踏み抜きを防止



押抜き試験状況



曲げ試験状況

高断熱、高遮熱

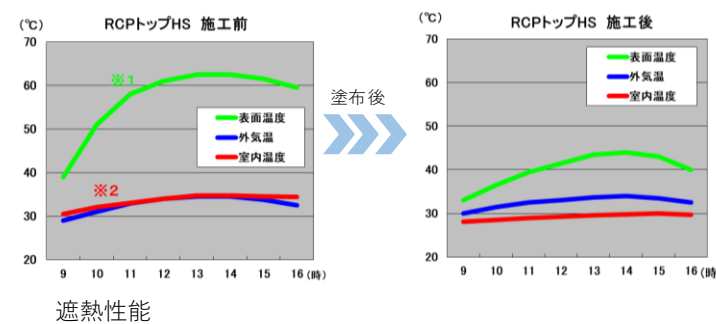
硬質ウレタンフォーム「クララフォーム-R」

- 熱伝導率が低く、シームレスな断熱層を形成
- 屋根材との高い付着性

断熱材の種類	熱伝導率 (W/m・k)	厚み(mm)
クララフォーム-R	0.026	15
押出ポリスチレンフォーム	0.034	20
ビーズ法ポリスチレンフォーム	0.037	21
グラスウール	0.045	26
ロックウール	0.047	27

超耐候遮熱塗料「リムテクトトップHS」

- 遮熱効果により室内温度の上昇が抑制
- 中塗り材や屋根材の熱劣化を防止



遮熱性能

防水性、遮音性

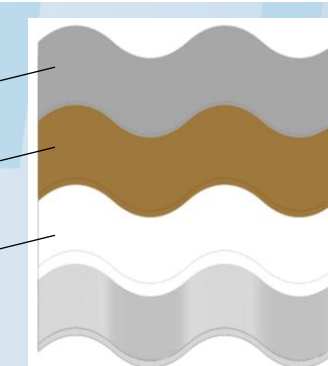
リムテクトコートは、JISA 6021「建築用塗膜防水材」ウレタンゴム系高強度形相当（自社試験）



スプレー施工によりシームレスな防水層

- 遮熱トップコート (リムテクトトップHS)
- 超速硬化ウレタン (リムテクトコート)
- 硬質ウレタンフォーム (クララフォーム-R)

標準仕様



雨漏りのリスク回避



雨漏りによる製造ラインの停止や保管物の損壊は、収益源や信頼性の失墜等、大きなリスクに直結します。

当社は調査、診断から補修補強までワンストップで実施し、最適な改修案をご提示します。工場、倉庫、体育館等の屋根改修には、是非ともリムテクト工法をご検討ください。

何を実施すべきか迷ったら

コンステック にご相談ください